

砥部町

新型コロナウイルスワクチン 接種のお知らせ

接種費用
無料
(全額公費)



ワクチン接種までの流れ

1 接種予約が可能な医療機関を確認する

別紙チラシを確認の上、コールセンターやインターネットで、ワクチンを接種することができる医療機関の予約空き状況を確認しましょう。



① 砥部町のコールセンター → 089-948-8308

② 専用サイト アドレス <https://v-sys.mhlw.go.jp>

詳しくは右の 接種総合案内サイト「コロナワクチンナビ」をご確認ください。



- ※ 医療機関を探すことができない場合は、コールセンターにお問い合わせください。
- ※ 原則入院中・入所中の方等を除き、ワクチン接種は住民票のある市町村(住所地)で受けます。住所地以外でのワクチン接種については、裏面をご覧ください。
- ※ 「コロナワクチンナビ」直接予約をすることはできません。



「コロナワクチンナビ」
二次元コード

2 医療機関に連絡し、予約をする

3 医療機関でワクチンを接種する



※ 接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、予約した医療機関にご連絡ください。

当日の
持ち物

- ・接種券(このお知らせに同封されています)
- ・本人確認書類(健康保険証や運転免許証等)
- ・予診票(必ず事前にご記入し、ご持参ください)



- ※ 予診票は必ずご自宅でご記入の上、医療機関にご持参ください。窓口での混雑や密を避けるためにご協力をお願いします。
- ※ 接種前には、必ず同封してある『新型コロナウイルスワクチン予防接種についての説明書』をお読みください。
- ※ 同封されたクーポン券は、2回分の「接種券」や「予防接種済証」が1枚になっています。毎回、切りはなさず台紙ごとお持ちください。
- ※ 接種当日は、肩を出しやすい服装でお越しください。
- ※ ワクチンの効果を十分得るために、同じ種類のワクチンを一定の間隔を空けて2回接種する必要があります。1回目を接種した際、次回接種がいつから可能なのかご確認ください。
- ※ 接種後に副反応があれば、愛媛県のコールセンターや接種した医療機関にご相談ください。

愛媛県コールセンター

0120-567-231 (接種後の副反応の相談)

(裏面あり)

◎ 高齢者の接種について

令和3年度中に65歳に達する方(昭和32年4月1日以前に生まれた方)から接種を予定していますが、ワクチンの供給量によっては、年齢等により接種のご案内の時期を分けることがあります。(例えば75歳以上の方から、まずは接種のご案内を開始するなど)

◎ 住民票がある場所(住所地)以外での接種について

- ・入院や入所中の医療機関や施設でワクチンを接種する方 → 医療機関や施設でご相談ください。
- ・基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを接種する方 → 医療機関でご相談ください。
- ・お住まいが住所地と異なる方 → 実際にお住まいの地域でワクチンを接種することができる場合があります。コロナワクチンナビでご確認いただくか、実際にお住まいの市町村の相談窓口にお問い合わせください。

◎ 接種前には必ず同封の『新型コロナワクチン予防接種についての説明書』をお読みください

◎ ワクチンを接種するにはご本人の同意が必要です

ワクチンの接種は、しっかり情報提供を受けたうえで、接種を受ける方の同意がある場合に限り接種を行うこととなります。予防接種を受ける方が、予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただきます。接種を受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

◎ 接種回数

現在、接種が可能なファイザー社のワクチンは、2回接種が必要です。1回目のワクチン接種を受けてから3週間空けて、2回目の接種を受けてください。

◎ ワクチンを接種できる医療機関や空き状況は、町コールセンターや「コロナワクチンナビ」でご確認ください

空き状況確認後、医療機関へ予約を行ってください。なお予約後にご都合によりキャンセルされる場合は必ず予約した医療機関に連絡してください。

◎ 接種後の副反応等は愛媛県コールセンターにご相談ください

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、首相官邸ワクチン特設ページをご覧ください。

官邸 コロナ ワクチン 検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

お問い合わせ先

■ 接種についてのお問合せ(町コールセンター) ☎089-948-8308
時間:9時~19時 (平日)

■ 接種後副反応等についてのお問合せ(愛媛県) ☎0120-567-231
時間:8時30分~20時 (平日、土日・祝日)

■ 接種についてのお問合せ(厚生労働省) ☎0120-761-770
時間:9時~21時 (平日、土日・祝日)

■ 砥部町保健センター ☎089-962-6888



(裏面あり)

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは16歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約95%と報告されています。）

販売名	コミナティ [®] 筋注
効能・効果	SARS-CoV-2による感染症の予防
接種回数・間隔	2回（通常、3週間の間隔） ※筋肉内に接種
接種対象	16歳以上（16歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	1回0.3 mLを合計2回

- 1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。（接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。）
- 1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチン接種を受けてください。
- 本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1） 明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2） アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15 分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は 30 分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 当日の激しい運動は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2 による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種により mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	◇ トジナメラン（ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードする mRNA）
添加物	◇ ALC-0315：〔（4-ヒドロキシブチル）アザンジール〕ビス（ヘキサン-6,1-ジイル）ビス（2-ヘキシルデカン酸エステル）
	◇ ALC-0159：2-〔（ポリエチレングリコール）-2000〕-N,N-ジテトラデシルアセトアミド
	◇ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン
	◇ コレステロール
	◇ 塩化カリウム
	◇ リン酸二水素カリウム
	◇ 塩化ナトリウム
	◇ リン酸水素ナトリウム二水和物
	◇ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。